

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	カラーズFC鳥栖		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ~ 2025年 12月 25日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44人	(回答者数) 29人
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日 ~ 2024年 12月 25日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の支援体制(打ち合わせ・記録・チーム支援)が確立されている	・支援前の朝礼で活動内容・役割分担・児童状況を共有 ・日々の記録をHUGで作成し、支援の振り返りと改善に活用 ・モニタリングやアセスメントを定期的に行い、計画の見直しを行っている	・勤務時間が異なる職員にも情報が確実に伝わる仕組み(共有ツール・簡易記録)の導入 ・支援終了後の振り返りを当日中または短時間で実施できる体制整備
2	個別・小集団・集団を組み合わせた柔軟な支援が実施できている	・個別活動・専門支援・サッカーを中心とした集団活動を組み合わせた支援設計 ・日々テーマを設定し、活動プログラムの固定化を防止 ・平日・休日・長期休暇で目的に応じた支援内容を設定	・支援効果を可視化するためのアセスメントツールの統一 ・活用強化 ・活動ごとのねらいと評価指標を明確化し、職員間での共通理解を深化
3	保護者との関係構築・相談対応が丁寧に行われている	・送迎時や電話等で日々の様子を共有し、課題の共通理解を図っている ・保護者からの相談に対して迅速に対応し、必要に応じて職員間で共有・検討 ・モニタリングや面談を通して継続的な情報共有を実施	・ペアレントトレーニングの実施回数の増加や内容の体系化 ・保護者同士の交流機会(保護者会・イベント)の定期開催

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流および社会参加の機会が不足している	・日々の支援活動を優先する中で、地域との交流機会を計画的に設定できていない ・地域資源(児童クラブ・地域団体等)との関係構築が十分ではない ・外部との関わりに対する安全面や運営面での配慮から実施機会が限定的になっている	・地域の児童クラブや公共施設等との連携を図り、合同活動の機会を段階的に設定 ・年間計画の中に地域交流活動を位置付け、計画的に実施 ・小規模な交流(見学・短時間活動)から開始し、無理のない形で機会を拡大 ・地域行事や清掃活動などへの継続的な参加による関係性の構築
2	保護者支援の体系化および情報発信の充実が不十分	・保護者支援が個別対応中心となっており、体系的な支援(ペアレントトレーニング等)の実施頻度が少ない ・保護者同士の交流機会が不足しており、横のつながりを支援できていない ・情報発信が一部ツールに限られており、発信頻度や内容にばらつきがある	・ペアレントトレーニングの定期実施(少人数・短時間からの導入) ・保護者会や交流イベントの開催による情報共有と相互支援の促進 ・会報や配信ツールを活用した定期的な情報発信(活動報告・支援のポイント等) ・保護者支援の年間計画を作成し、継続的に取り組む体制の構築
3			